

平成20年度税制改正に関する アンケート調査

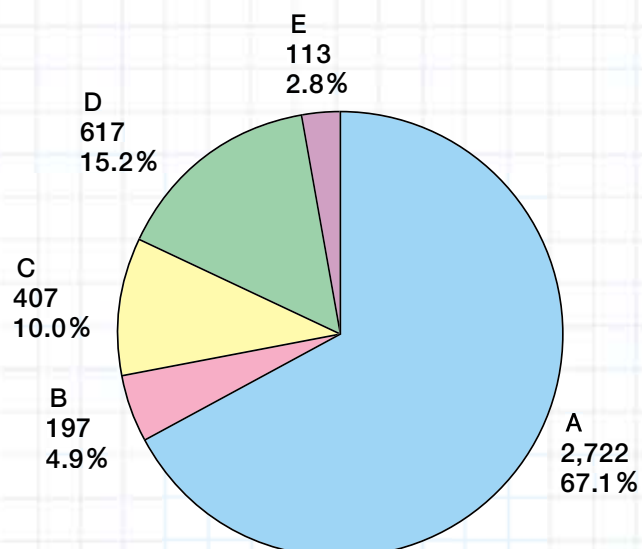
本年3月に全国の法人会の税制委員を対象にしたアンケート調査を実施、その結果を取りまとめました。

対象会	442会	回答者数	4,118名
提出会	441会	(但し、問いに対して無回答もあるため、数字は一致しない)	
提出割合	99.8%		

1 法人会では、中小企業が地域に果たしている役割を考え、事業継承税制の確立を求めています。貴殿の事業継承に関するお考えをお聞かせください。

(1) 事業継承についてどうお考えですか。なお、ここでいう後継者とは子、親族、社内・社外からの登用のことをいいます。

- A. 後継者に事業承継したい
- B. 後継者に事業承継せず、事業売却や廃業を検討したい
- C. 既に後継者に事業承継した
- D. まだ考えていない
- E. その他

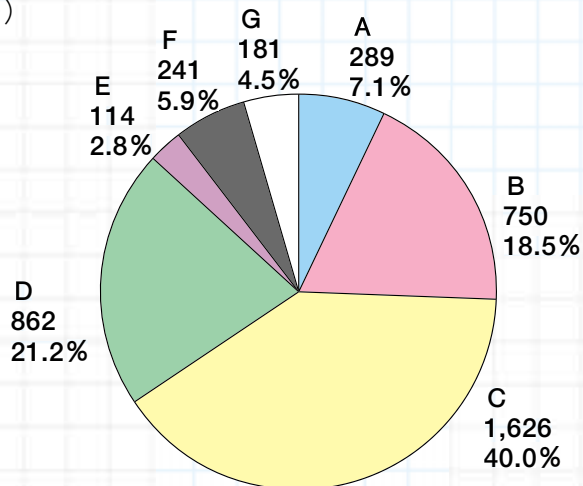


1

(2) 貴殿は何歳くらいで事業承継をしたいと考えておりますか。

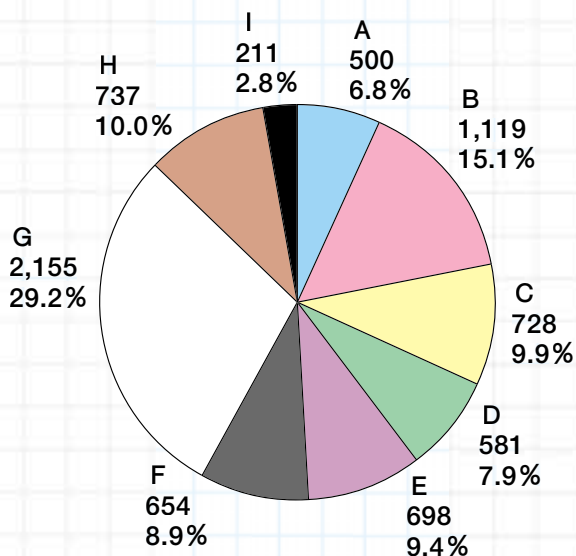
(既にした場合は何歳のときに承継したか)

- A. 50歳代
- B. 60歳代前半
- C. 60歳代後半 (65歳含む)
- D. 70歳代
- E. 後継しない
- F. わからない
- G. その他



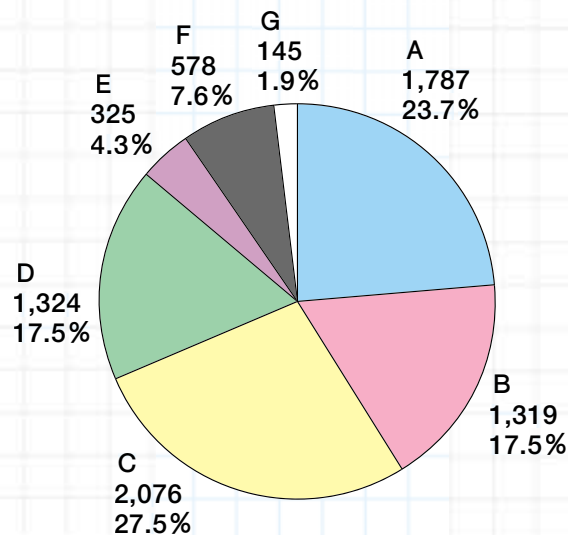
(3) 事業継承を行うに当たっての問題点を次の事項から 2項目 お選び下さい。

- A. 相続などで、後継者以外にも自社株が流出する
- B. 自社株の評価額が高く、生前贈与するための資金が無い
- C. 納税資金を考えると、自社株や資産を売却する必要がある
- D. 後継者がいない
- E. 銀行・取引先等への影響
- F. 役員・社員等への影響
- G. 事業の将来性
- H. 特になし
- I. その他



(4) 事業継承を行うに当たって、税制上優遇してもらいたい事項を 2項目 お選び下さい。

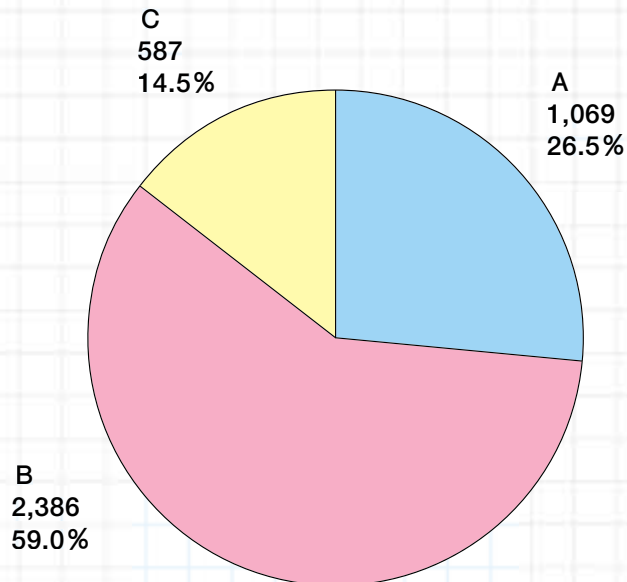
- A. 現行の「中小同族株に対する相続税の減額措置」を拡充するなど制度を見直す
- B. 現行の減額措置ではなく、欧米の制度と同様に事業資産および自社株式への課税を軽減する制度を新たに創設する
- C. 市場での換金性がないことを考慮し、自社株式の評価額を低くする
- D. 早期に事業承継を行えるよう、相続時精算課税制度の非課税枠を拡大する
- E. 相続を容易にするため、種類株式（配当優先無議決権株式、拒否権付株式など）の評価を見直す
- F. 資金調達の困難性を考慮し、物納・延納制度の更なる改善
- G. その他



2 平成18年度に創設された「特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入規定」については、平成19年度税制改正において、基準所得金額が800万円以下から1,600万円以下に引き上げられます。このことについてお聞かせ下さい。

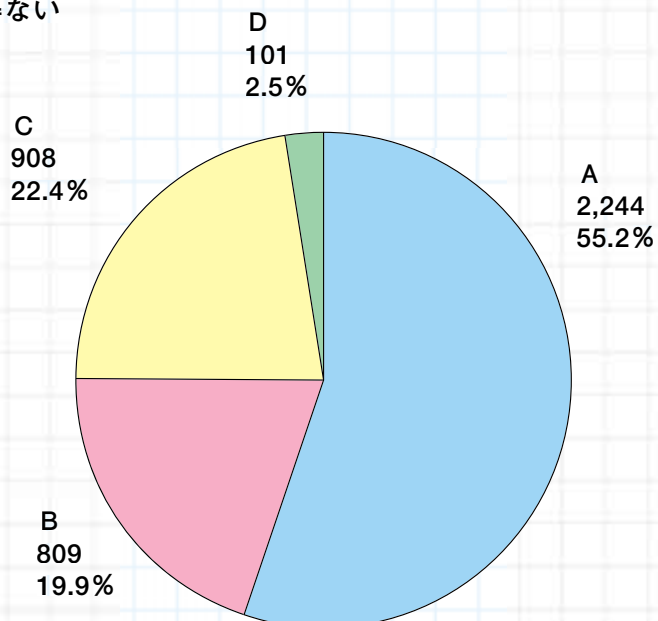
(1) 平成19年度より基準所得金額が引き上げられますが、貴殿の会社は、同制度に該当しますか。

- A. 該当する（と思う）
- B. 該当しない（と思う）
- C. わからない



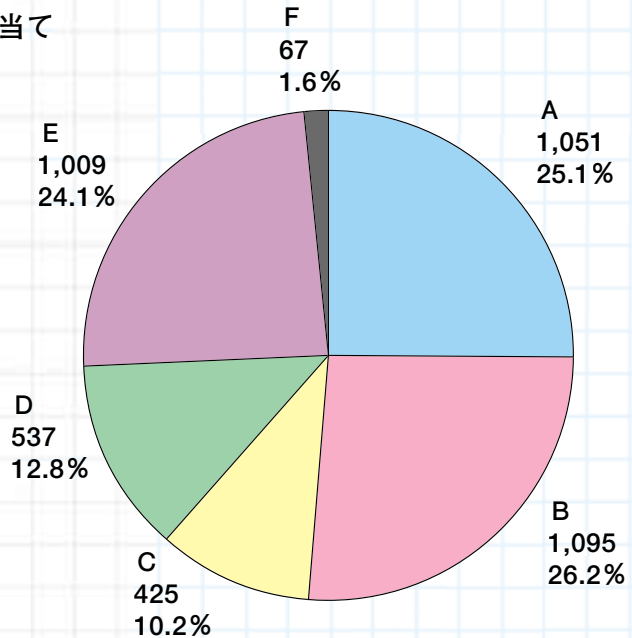
(2) 今回の改正を踏まえ、同制度についてどう考えますか。

- A. 引き続き、制度の廃止を含む抜本の見直しを求める
- B. 制度の趣旨を考慮すると、基準所得金額が緩和されたこともあり、やむを得ない
- C. わからない
- D. その他



3 少子化対策については、国の基本政策として取り組む重要な課題であり、行政面をはじめ総合的な施策を講じることが肝要です。その一環として、税制上の措置で有効な施策はありと
考えますか。

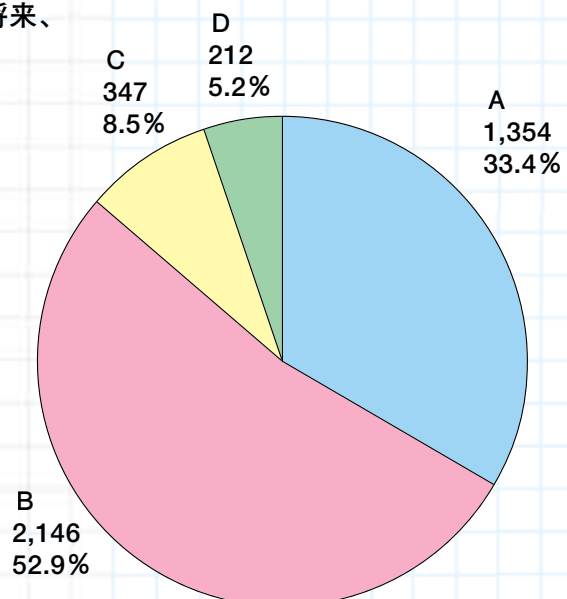
- A. 現行の扶養控除を拡充
- B. 児童に対する税額控除制度の創設
- C. フランスで実施されているN分N乗方式等の導入
- D. 子育てを支援する企業への税制上の手当
- E. 税制上の対応では効果が期待できない
- F. その他



4 骨太の方針2006によれば、大胆な歳出削減と増収策を組み合わせることにより、平成22年度までに基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字化を達成することとしています。さらに、黒字化を達成した後も、長期債務残高の削減、対GDP費の引き下げを検討していくこと
としています。

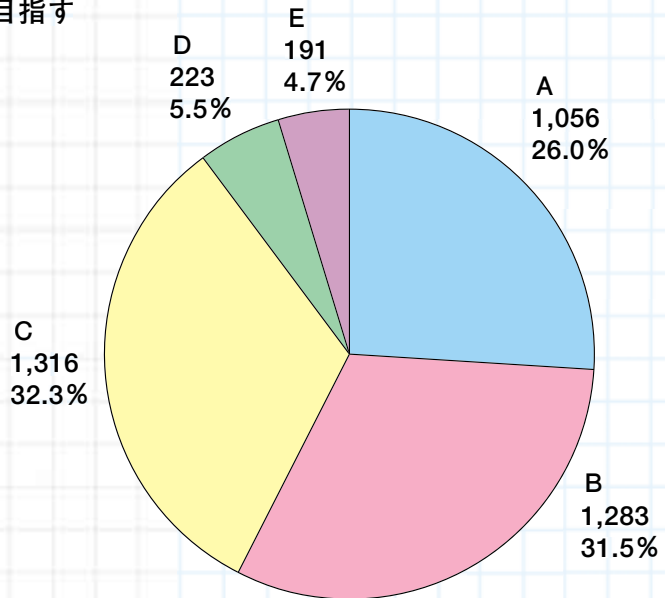
このことを踏まえ、今後の税制のあり方についてどう考えますか。

- A. 経済成長を高め、税収を増加させる方策をとる
- B. 経済成長は景気に左右されるので、近い将来、
安定的な税体系も構築する
- C. 財政赤字・社会保障財源を考慮し、
早急に税負担で対応する
- D. その他



5 政府は、平成21年度における基礎年金国庫負担割合の引き上げのための財源、また増大する社会保障費を安定的に確保するため、消費税を含む税体系の抜本的改革を今秋以降に取り組むこととしております。社会保障制度の今後のあり方についてお聞かせ下さい。

- A. 負担が上昇してでも、現行の給付水準を維持すべき
- B. 現行の負担を抑制するため、給付水準もそれに合わせて見直すべき
- C. 最低限の給付と負担は維持し、残りを自助努力に任せる
- D. 北欧諸国のように高福祉・高負担を目指す
- E. その他



ひとくさ

南法人会 一口コラム



近頃、パソコンでの“うっかり”入力ミスや漢字への変換ミスが社会的な話題になっていますが、中には思わず吹出してしまう物も、薬剤師→やくざ医師、会社概要→会社が異様、委託内容→痛くないよう、5期ぶりの増益→ゴキブリの臓液・・・でもまあ以前、手書きの時代でも色々ありましたね、「シートベルトを締めよう」という看板、あきらめてはいけないと思いますが・・・、パソコンや携帯電話の全盛で若者の国語力が落ちているのは確実です。以前、電気メーカー入社試験で「無□□中」の空白を埋める4字熟語の問題がでました。正解は「無我夢中」ですが、一番多かった間違いは・・・・・・「無理心中」でした。

